

# 生まれたての法人と共に成長

あきたで生きる～秋田の地域資源を活用し、秋田で暮らし、秋田を活かす取組～



株式会社 こっこちゃんファーム  
(山本郡三種町)

代表取締役 成田 昇

## 経営概況

経営面積 | 田 20ha  
畑 13.2ha

作物 | 水稻、ねぎ、枝豆種子、そば、さつまいも等  
構成員 | 役員3名、社員5名、臨時雇用8名  
販売先 | JA、地元スーパー等



●成田代表取締役

●良き先輩の成田圭吾さん(左)、高田翔太さん(中央)、成田千尋さん(右)

三種町にある「こっこちゃんファーム」は、秋田県園芸メガ団地の一つで、令和2年1月に設立したねぎ栽培に取り組む農業法人です。ねぎ栽培初心者の従業員たちが、「ひよこ」と同じ様に一から成長していくという思いを込めて、「こっこちゃん」と命名しました。法人と共に成長する2名の若手就農者からお話をお聞きました。

## ▶ 就農のきっかけ

高田翔太さん(能代市出身)は、実家が農家で、米や野菜を栽培していたため、子供のときから農業に関心があり、能代松陽高校を卒業後に地元 JA に就職しました。仕事を通じて農家と接するうちに自身でも作物を作りたいと思うようになり、JA を退職後、令和2年4月、「こっこちゃんファーム」に入社しました。

成田千尋さん(三種町出身)は、非農家出身ですが、作物を育てることに興味があり、旧能代西高(現能代科学技術高)生物資源科を卒業後、地元種苗会社に就職しました。しかし、農業への思いがあり、以前から面識のあった成田代表の勧めで、就農前に能代市農業技術センターで2年間の研修を経て、令和5年4月、同法人に入社しました。



●ねぎ収穫機の上で選別作業を行う千尋さん

## ▶ これからの自分たち

高田さんは、主にねぎのほ場管理や出荷作業などを任されていますが、得意分野は、ほ場での機械操作や薬剤散布などです。「これからはねぎだけでなく、他の農作物の栽培にも関わりながら、どんな場面でも的確に対処できる技術を身につけたい。一緒に成長し、励まし合える若い農業者が増えたい。」と話します。



●ハウス内で均平作業を行う高田さん

千尋さんは、高田さんと同じく、ねぎのほ場管理や出荷作業を担当しています。「就農一年目の今年は、ほ場にたくさん足を運び、いろんな農作物の栽培に関わりたい。自分なりに勉強し、農作物の知識や技術を身につけ、今後は特にオクラの栽培に取り組んでみたい。」と話します。



●ねぎの調製作業を行う従業員の皆さん

## ▶ 法人の新たなチャレンジ

ねぎを出荷する際は、これまで市販の結束テープを使用していましたが、令和4年に従業員が考案したひよこのキャラクターが目玉の結束テープを導入したところ、一目で同社のねぎと認知してもらえるようになりました。成田代表は、「地域のたい肥や三陸産生牡蠣殻を利用した土づくりなど、環境にやさしい農業、おいしいねぎ作りに努力している。今後も品質や味に責任を持ち、自信を持って販売していきたい。若手には、経営にも関わるといった人材に育てたい。」と意気込みを語ってくれました。



●トレードマークのひよこがあしらわれたねぎの結束テープ

